

みなさまからいただいたご意見の紹介

M05.災害

- ・ 浸水リスクの考慮、災害時の避難所へのアクセス性、外環道の迂回ルートとしての役割への期待などのご意見がありました。

M05-01 「大雨時の浸水や冠水リスクなどを踏まえて計画して欲しい」

【意見例】



大雨時には国道463号をはじめとした道路が水没し通れなくなるため、救援が来られないのではと心配になる。

(ワークショップでいただいたご意見)



大雨時の冠水を考慮して整備してほしい。国道4号の災害時ルートが必要である。

(埼玉県久喜市在住の方からオープンハウスでいただいたご意見)



大宮台地の東側のエリア、特に綾瀬川付近やさいたま見沼IC付近、国道122号などでは豪雨による浸水や冠水が度々発生している。

(ワークショップでいただいたご意見)



核都市広域幹線道路の整備の際、地下水路も道路下に計画するなど、水害対策も検討してほしい。

(埼玉県さいたま市緑区在住の方から沿線地域住民への情報提供と意見聴取でいただいたご意見)

M05-02 「災害時の避難所へのアクセスや緊急物資輸送に役立つ道路にして欲しい」

【意見例】



核都市広域幹線道路は防災拠点へのアクセス道路として活用できる。

(ワークショップでいただいたご意見)



核都市広域幹線道路を緊急輸送道路として活用し、東北道と連携した広域な支援体制を考える必要がある。

(ワークショップでいただいたご意見)



核都市広域幹線道路に、首都直下地震などの災害時の迂回路としての役割を期待する。

(東京都江東区在住の方からオープンハウスでいただいたご意見)



片柳地区周辺は片側一車線の道路が多く、発災時に災害支援の自動車が目的地に辿り着けない事態が生じないか心配だ。

(ワークショップでいただいたご意見)



核都市広域幹線道路は、大規模震災発生時における都心や地方からの避難・救難ルートの確保の観点から、早急に整備すべきである。

(埼玉県白岡市在住の方からアンケートでいただいたご意見)